

# せせらぎ



令和2年10月20日発行 No.3

今回は、4年生の理科の授業の様子をお伝えします。前の時間までに、「空気を注射器に閉じ込め力を加えると体積の大きさはどうなるか」という実験を一人ひとり体験し、空気の体積は力を加えると小さくなり、空気は圧し縮めることができるということを理解することができました。

「さあ、今日は何を閉じ込めようか？」と子供たちに聞くと、「水」という声が返ってきました。そして授業が始まりました。

校内研究授業 10/15 (木)

4年理科「とじこめた空気と水」

指導者

ねらい「水を閉じ込めて力を加えても、水の体積は変わらないことを理解することができる。」

子供たちに書く力を身に付けられるよう、授業を工夫しています。



つかむ

1. 「めあて」をもとめよう
2. 「見通し」をもとめよう



空気の体積について復習した後、今日のめあてを考えました。  
めあて  
「とじこめた水に力を加えると、水の体積の大きさはどうなるか？」

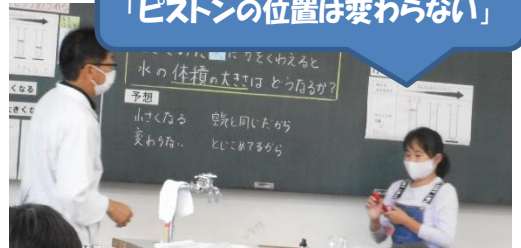
追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



一人ひとり、水を閉じ込め、実験しました。

実験結果を確認しました。「ピストンの位置は変わらない」



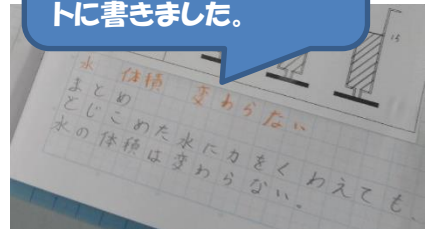
まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



結果を基にみんなで話し合いました。キーワード：水 体積 変わらない

最後にキーワードを使って、今日のまとめをノートに書きました。



児童は、水を閉じ込めて力を加えても水の体積は変わらないということを、一人ひとり実験を通して理解することができました。

授業研究会では、「一人ひとりが実際に実験をすることができたのでよかった。また、子供たちは、キーワードを使ってまとめの文章を考え、書くことができていた。」という意見が出されていました。